

### 1 題材名 「分断を変換し、共に社会をつくる」

#### (1) 子どもたちの学びの履歴から （「遊びのデザイン」2017年 1月～2月 2年生）

本学級の子ども達は、2年生で「遊びのデザイン」を行った。そこでは自分たちの「居場所」について身体感覚を発揮しながら調査をした。その調査で「大事な居場所」として多く挙げたのが校庭の山であった。そこで「場」と自分たちの遊びという「行為」を振り返り「遊びの再創造」をねらいとして「遊びのデザイン」という題材を考えた。本来ならばそこでは関係する多様な「ユーザー」を対象にして考えていかなければならないが、当時は2年生ということで様々な制約は気にせず、まずは自己の行為をふり返り、遊び場や遊びそのものをデザインした。

#### (2) デザインの授業で「埋もれた個」の問題に気がつく

今回は過去の題材をさらに広げ、多様な他者（user；ユーザー）の存在を感じながらデザインをしたと考えた。それは4年生のデザインの授業において教師が問題を感じたからである。昨年4年生に行ったデザインの授業では当初からデザインの対象になる「物」ばかりに目がいき、使う他者の存在を考えず「ユニバーサルデザイン」「障害者の為」等の言葉を遣い「知っているつもり」でデザインしようとする子どもが多くいた。その他者を感じない言動は、未知の他者を排除するような言動になっていると感じた為、教師（筆者）が途中で制止した。そして、まずは一人ひとりのユーザーが置かれた状況や背景、その人の個性や感情などを感じながらデザインを進めることにした。この時から教師（筆者）は、なぜ子ども達は他者をきちんと感じないのかと疑問をもち、そのような「埋もれた個」を生み出してしまう原因について考えてきた。それはもしかすると、「〇〇学年の子ども達…」と学年の総称で子どもの傾向が語られたり、授業（学校）が社会と切り離されてしまったりしていること等が影響しているのではないかと考えた。このようにお茶小の状況が生み出す特有の問題が子どもの思考（身体）にも染み込んでいるかもしれないと感じ「埋もれた個」について考えるようになった。

#### (3) 授業（学校）の問題と連動する、子どもの仲間関係に見られる「分断」の問題

そのような考えのもとで授業を見ると、集団の中に小さな異質性が埋もれる事によって起こる見えづらい排除や分断は、自由な雰囲気がある「アトリエ」でも見えてくる。アトリエの子ども達は自由に行き来して交流しているが、学年が上がるにつれてその行き来が減少してしまいがちである。行き来する子ども達がいても、その行き先は男女や進路等、暗黙のうちに同質性に向かっているようである。そしてその同質性の中で起こる小さな異質性の排除や分断があっても、同質性がその個々の問題を埋もれさせてしまっているように見えた。

### 2 本題材のねらい 「分断を変換し、共に社会をつくる（デザインする）」

このように、子どもの問題からその背景にある教師や学校の問題も見えてきた。上記の「社会と切り離された状況にある授業（学校）」という問題が引き起こす「分断」と、社会（世界）で起こる「分断」の問題は程度の違いはあるが、これから子ども達が社会に出て多様な他者と関わることを考えた時、避けることができない重要な問題である。その社会の問題や身近な生活の中で起こる「異質性の排除」や「分断」という問題について、その当事者である他者を感じ、デザインによってその問題を変換し対立することなく解決する経験をしながらか、社会をつくる（デザインする）ことが本題材のねらいである。

### 3 本時の授業について（8時間目／全13時間）

12月末には、「自分が感じる善さ（美しさ）や醜さ」とは何かについて考えた。その個々の美醜の問題について対話（3時間）しグループや全体に広げ、その対話から自分たちのissue（ここでは、より善くなる可能性を秘めた「問題」とする）を見つけ、そのissueをコンセプトとしてデザインする。対話後子ども達がどのようなissueを共有し、そこにどのように向き合おうとするのかを見ながら、ブレインストーミング（2時間）なども取り入れ、さらに考えを発展させたい。

本授業では、おそらく子ども達のissueが共有され、未知の存在である一人ひとりの他者（user；ユーザー）と自分の関わりを考えながら、仲間と共に新たな「もの」や「コト」「場」などをデザインし、子ども達が社会をつくろう（デザインしよう）としているのではないかと予想する。

これまでの「心づもり」と変わらずに、目に見える「形」にすることは急がず、子ども達が本当に問いたいissueが見えるまで、教師も一緒に考えたい。

#### □授業後の話し合いで話題にしたいこと

図画工作が教育課程の中にある意味。社会とつながる学びについて。